

## 2012 年度 入学式式辞

新入生の皆さん、本日は、御入学おめでとうございます。また、これまで長年にわたって新入生を育み支えて来られましたご家族の皆さまにも心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。皆さまの大切なお嬢様を、本日よりお預かりすることになります。ご期待に応えるべく教職員一同、心を合わせて取り組むことをハッキリとお約束申し上げます。

また、本日、平成 24 年度の入学式を執り行うにあたりまして、何かとご多用のところを、また、強い風の中を御臨席賜りました御来賓にも厚くお礼を申し上げます。

信愛での教育の一番の特徴はカトリック価値観に基づいた教育です。人類が文字を覚えて以来ユダヤ教の 3000 年の歴史、キリスト教の 2000 年の歴史の中で「人間は如何に生きれば幸せな生涯を過ごすことができるか、自分の幸福だけでなく周りの人をも幸せにしてゆけるか」をカトリック教会は継承し深めてきました。信愛の教育は、このような体験に裏付けられた価値観から出ています。

大部分の皆さんは、カトリックというと宗派とか宗教団体を考えるでしょうが、それは半分の答えです。カトリックは英語の辞書を調べてもらうとわかりますが、カトリックとは「普遍的な」という意味です。カトリックの教えは特定の人種や民族のためのものでなく、人種国境、男女の性差、貧富の差を越えて全ての人のために「人間はどう生きれば幸せな人生を過ごす、自分だけでなく周りの人をも幸せにするか」を教えるものです。

皆さんは、本学で 2 年間学んだ後には社会に出て一人の独立した人間として生きることになります。皆さんにとってこの 2 年間は、そのための最後の準備期間となります。非常に大事な、そしてやりがいのある準備期間です。良い準備をしましょう。社会に出るための資格をとることも大切です；教職員も心込めて応援するのでしっかりやって下さい、しかし、人生には、生老病死は言うに及ばず、思わぬ災害を含め、そう甘いものでもないことも事実です。良い準備、良い備えを持つことが大切です。カトリック価値観は強いです。

皆さんが、本当に自分らしく、世間的な流れに流されるのではなく自分らしい人生を、自信を持って歩もうとするとき、カトリックの教えは大きな力になります。皆さんは、この 2 年間、カトリックの教えに触れるチャンスを与えられています。利用されたらよいと思います；信者になる必要はありません。まじめに取り組まれたら、きっとそれなりのものを受けられ、生涯にわたって、より豊かな人生を手にする事ができるでしょう。単に資格を取ることに気を奪われること無く、この機会に教会に蓄積された人類の知恵を学び身につけられることを強くお勧めします。

皆さんの学園生活が充実した稔り豊かなものとなるよう応援しています。2 年間は長いようで短く、短いようで沢山のものを学べる十分な期間です。一人ひとりが自分の持ち味を生かし、光放ち輝いたものとなるよう祈っています。

最後に、入学生の皆さんを始め、御列席頂いた全ての皆さまに、神さまの豊かな祝福があるようにお祈り申し上げて私の式辞といたします。

平成 24 年 4 月 3 日

和歌山信愛女子短期大学 学長 小山 一